



「みみのぶ」

身延町立身延小学校

校長 依田 智



身延小の二学期、スタートです！

七月後半から今月後半まで、とんでもない猛暑が続いた夏でした。全国各地で、例年の数倍以上となる熱中症事例が報道されました。甲子園の高校野球など、各地のスポーツ競技大会においても、様々な熱中症対策を講じる中で開催されました。本県でも、甲府や勝沼、大月を中心に猛暑による高温のニュースが、何度か伝えられていました。

また、そのため、全国的に保幼小中やレジャー施設を中心に、夏休み中のプール開設を断念しなければならぬ状況も発生しました。数年前までは、暑すぎて屋外で水泳ができなくなるなどということは想像だにしませんでした。地球環境の大きな変化によるものとは言え、水温計の破損とも併せ、泳ぎたい子どもたちには残念な思いをさせてしまいました。御家庭にも御心配をおかけしました。

さらに、今年は、七月に入ってから台風が急増し、先週までに二〇号を数えます。その間には、七月上旬に「西日本豪雨」があり、広島や岡山などを中心に多くの犠牲者や被災者が出てしまいました。七月下旬には、過去に例のない、本州を東から西に横断する「逆走台風」が襲来しました。豪雨・猛暑・台風と、今夏は異例すぎました。

処暑を迎えたとは言え、まだしばらくは暑さが続くと思われまじし、例年ではこれからが台風シ

ーズンとなります。学校では、通例以上に、暑さ（熱中症）への対策や災害への対策を行っていきます。御家庭におかれましても、御配慮や御協力をよろしくお願いいたします。また、先週土曜日（二十五日）には、PTA親子環境整備作業というところで、多くの御家庭に参加していただき、短時間で効果的な作業をしていただき



ました。高学年児童も積極的に頑張ってくれました。本当にありがとうございました。



さて、本日（二十七日）、三七日間の長い休みが終わり、事故・怪我・病気等もなく、子どもたちの元気な笑顔が学校に戻ってきました。これもひとえに、各家庭の御指導の賜と感謝申し上げます。また、休み中の校舎改修工事も、子どもたちが常時使用する部分については完了し、リニューアルされました。（リニューアルされた箇所が気がついたか、お子さんに聞いてみてください！）

二学期始業式では、子どもたちの明るい笑顔を見て、「充実した休みを送れたんだな」と安心して同時に、職員一同、子どもたちの清々しい表情から「私たちも、また頑張らねば！」と気持ちを一新させられました。二学期は、皆さんも御承知のように、年間で一番長い学期となります。八月下旬後半から一二月下旬まで、ほぼ四カ月間です。そして、その間に、最大行事である運動会を始めとし、大小様々な行事や取り組みが全校や学年で行われます。

通常の授業はもとより、それらに向かうこと

を通して、団結したり、協力し合ったりすることを学んだり、物事に対する真摯な姿勢を身につけたりしていきます。身延小では、学校教育目標である『豊かな心をもち進んで学ぶたくましい子どもの育成』を目指し、学校の理念とした『すべての子どもに笑顔があふれる学校をつくる』ことを、保護者・地域の皆さんと一緒に実現していきたいと常に考えています。今学期も、一学期以上にどうぞよろしくお願いいたします。

〈改めて、お礼とお願いです！〉

一学期終盤の保護者アンケートへの回答について、大変ありがとうございました。保護者の皆さんの前向きな評価や御意見をいただき、感謝すると同時に、今後の本校教育活動にしっかり生かしていきたいと考えています。集計結果等につきましては、整い次第、提示いたします。

先にも書きましたが、環境整備作業も本当にありがとうございました。多くの方の手を得て、予想以上の作業効率に職員一同、感謝の言葉しかありません。校舎内外ともに整った中で、本日、子どもたちを迎えることができました。

保健だよりも配慮及び注意喚起をさせていただきましたが、まだしばらくは気温の高い日が見込まれます。御家庭でも熱中症予防への対策を強化をお願いいたします。特に、運動会への取り組みが九月二週目より始まりますので、御配慮をよろしくお願いいたします。なお、暑さが心配されるため、取り組みや実施について各方面と様々検討しましたが、諸般の計画や事情に鑑み、予定通りといたします。御協力のほどお願いいたします。

校舎改修工事の方は、大部分終了していますが、多少残工事が九月中行われます。御承知ください。

校長室だより

平成三〇年八月二八日



「みなのぶ」

身延町立身延小学校

校長 依田 智



充実した夏を糧に二学期へ：

昨日、笑顔いっぱい始業式を無事に迎えることができました。何名か風邪などの体調不良で欠席もありましたが、今日にはほとんどの児童が元気な顔を見せてくれました。二学期は、夏から秋へ、そして、初冬へと、長めのスパンになります。体調管理をしっかりとしながら、より充実した学期にしていくってほしいと思います。

さて、昨日の始業式の中で、低・中・高学年ごとに、代表児童が「夏休みを振り返って・二学期に頑張りたいこと」を発表してくれました。ここでは、全校の代表として、低学年と中学年の発表を掲載します。お読みください。



「いせじんぐうにいったことと二学期にがんばりたいこと」

ぼくは、かぞくりようでいせじんぐうにいきました。いせじんぐうは、てんのかのしんぞくがまつられてるそうです。たてものがすぐくりっぱでした。おみやげ通りでめずらしいマンボウやサメのひものを見ました。

二学期にがんばりたいことは、友だちとなかよく元気にいろいろなことにちようせんしていき

いとおもいます。べんきようでは、こくごの文しようもんだいをがんばりたいです。

「夏休みの思い出と二学期に向けて」

四年・遠藤鉄心さん

ぼくの夏休みの思い出は、三つあります。

一つ目は、妹をふじ急ハイランドのトーマスランドにつれていけたことです。今までいきたいと思っても、ぼくの野球の試合があつて、よていをつぶしてしまい、いけなかったからです。妹がともよろこんでいて、ぼくもうれしくなりました。

二つ目は、今年おじいちゃんがなくなって、はじめてのおぼんをむかえたことです。おぼんは、なくなつた人のたましいが家に帰ってくる、おしえてもらいました。とおくからもしんせきがきて、おじいちゃんもよろこんでくれたと思います。おじいちゃんがあんしんしてみまもれるように、勉強やスポーツもがんばらないといけないなと思いました。

三つ目は、楽しみにしていた少年野球のみんなと、東京ドームにいけたことです。しあいは、巨人対中日でした。生でプロのしあいが見れて、とてもこうふんしました。ようだいかんのTシャツとタオルも買えて、とてもうれしかったです。しあいの中では、五本もホームランがでて、一〇対〇で、すがのとうすごいとうしゅがかんぷうしました。すごかったです。また、来年も見に行きたいです。

二学期にむけては、勉強面で一学期苦手だった国語を中心に、本をもっといっぱい読んで力をつけたいと思います。生活面では、わすれものが一学期は多かったので、前の日にしっかりとくして、かくにんしたいです。最後にみんな

なのやくにたてるように、まわりをしっかりと見て行動したいと思います。

〈昨日・今日の風景から〉

学活では、提出物や宿題の確認をしました。

学級役員決めや班替えをした学級もありました。

改修工事により、教室のロッカーや水道場、掃除用具入れ、そして、昇降口の下駄箱もきれいになりました。



朝の運動道場、掃除用具入れ、そして、昇降口の下駄箱もきれいになりました。

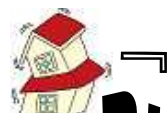
は、運動会に向けてラジオ体操をしました。集合時の五年生の整列姿勢が素晴らしいかったです。



今週

難訓練週間」を行っています。いろいろな場面です。展開していきま。まずは、「自分の身は自分で守る！」を意識して。御家庭でもぜひ話題にしてみてください。





「みみのぶ」

身延町立身延小学校

校長 依田 智



防災意識をより高く！

御承知のように、学校では二学期初めの今週一週間に「避難訓練週間」と銘打って、いろいろな場面で一次避難を中心とした訓練を行っています。授業中だけでなく、中休みや教室移動中、給食の片付け時など、担任がすぐそばにいないことも想定した一次避難を「予告なし」で「複数回」実施します。



これは、児童だけでなく、職員にとってもとても重要な訓練となります。災害、特に地震は、前触れがなく突然起こります。授業中だろうが、休み時間であろうが、給食中であろうが、地震は待ってくれません。Jアラートから警報が流れたら、大きな揺れが発生したら、瞬時に児童の避難誘導に動く姿勢が必要となります。児童には「自分で自分の身を守る」ことを、職員には「児童を素早く避難誘導する」ことを、より意識し、少しでも適切で安全な判断力を身につけてもらいたいと思います。九月一日は「防災の日」です。二日には、各地区でも防災訓練が予定されています。ぜひ御家庭でも話題にしてください。防災に努めていただけたらと思います。

「子育ては薫陶」

昨夜は、PTA執行部会、並びに、役員会がありました。役員の皆さんには、お仕事でお疲れのところ夜分にお集まりいただき、大変ありがとうございました。保護者の皆さんがPTA活動に対し、我が子のためとは言え、自分たちのこととしてしっかり受け止め、積極的に、かつ、温かく参画してくださっており、職員一同、心の底から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、今回は、バイオリニストの五嶋節（六九歳）さんの子育ての話を紹介したいと思います。教育雑誌で読んだ話で恐縮ですが、彼女は、二人の子ども（五嶋みどり、五嶋龍）を自ら徹底的に指導し、世界的バイオリニストに育て上げました。彼女は、次のように語っています。

「最近、子どもをあまりしからない親が多いと聞きます。でも、うそをつかない、命を大切に、目上の人を敬う、といった人間としての基本的な価値観は、絶対的なものとしてしっかりたたき込んでおくべきでしょう。もしそれらに反することを子どもがしたとき、本気になつてしかりつけることは、大人の義務です。（中略）私が経験から感じていることは、子どもは親が死にもの狂いで育てないとまともに育たない。子育ては苦勞の連続だということ。でもだからこそ、子どもが成長したときの喜びは大きいし、一〇〇%のエネルギーでぶつかってれば、子どもは必ずその思いに答えてくれると信じます。」と語っています。

子どもの教育は、誕生から「しっかりと抱いて、そつと下ろして歩かせる」ことであり、「抱きし

め」（抱擁の原理）、「突き離し」（切断の原理）、最後に「じつと見つめて指導する」（観察なきところ教育なし）の三段階が重要であると言われて

います。外山滋比古さん（英文学・言語学・教育論等が専門の学者・エッセイスト）は、教育は薫陶であり、空気による育成を意味すると述べています。家庭には家風、学校には校風があり、人が生活しているところはやがて、一定の空気、雰囲気が生じ、子どもたちを包む家庭や地域、学校の空気による感化が子どもたちを心の奥底から変えていくと説いています。（※薫陶＝香をたいて薫りを染み込ませ、土をこねて形を整えながら陶器を作り上げること）

私は、「笑顔」という言葉を、人が人として人らしく生きていく上で大切にしなければならぬキーワードだと捉え、「空気が」（雰囲気）による感化により、子どもたちの健やかな成長に、職員はもとより、保護者の皆さんとともに全力で取り組んでいきたいと思っています。奇しくも、今年度は新身延小の校風の礎を創造する重要な年でもあります。改めてまして、二学期以降も何とぞよろしくお願いいたします。

「町長を囲んで語り合おう二〇一八」

夏休み後半に、町内の小中高生の代表を集めて、望月町長と意見交換をする会が開かれました。本校からは、六・五年生から二名ずつ、四名の代表が参加し、町長さんに町をさらに良くするための提言をしてきました。四人とも立派に発表してきました。

